

会議録(1)

会議の名称	令和7年度第1回飯能市地域包括支援センター運営等協議会
開催日時	令和7年5月21日(水) 開会 午後1時30分 閉会 午後2時40分
開催場所	飯能市総合福祉センター 3階 会議室1
会長氏名	大野 康
出席委員	石川 友仁 打田 瑠美 大野 康 大野 泰規 小田 晋平 齋藤 明 角田 七重
欠席委員	池田 徳幸 黒見 恵
傍聴者の数	2人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局	福祉部長 五十川 美也子 介護福祉課長 堀川 和義 主幹 佐野 誠治 主幹 鈴木 雅之 主査 岡部 美ちる 主査 小川 達也 主任 粕谷 健悟 主事 大松 春乃 主事 荻原 まいり

会議録(2)

議事の概要（経過）・決定事項

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 地域包括支援センターの活動報告について
 - (2) 令和6年度各地域包括支援センターの総括及び事業評価について
 - (3) 令和7年度各地域包括支援センターの運営方針について
 - (4) その他
- 4 閉会

会議録(3)

発言者	発言内容
介護福祉課主任	(開会)
会長	(あいさつ) 「(1) 地域包括支援センターの活動状況等について」を議事とする。
介護福祉課長	(資料1に基づき説明)
会長	資料1について質問・意見を伺いたい。
委員	相談内容の介護者の離職防止に関することについて、さかえ町は18件あるが、その他はほとんどない。さかえ町は介護者の離職防止に対して積極的に取り組んでいるのか。また、実際にどのような相談があるのか知りたい。
介護福祉課長	内容については、確認して次回お伝えしたい。
介護福祉課長	(資料2に基づき説明)
会長	資料2について質問・意見を伺いたい。
委員	さかえ町の認知症施策の推進でバーチャルリアリティの機器を補助金によりレンタルし、認知症体験の機会を提供したとあるが、認知症対策に対して補助金が出ているのか。また、出ているならいくらか。
介護福祉課主査	認知症カフェの開催に対しては補助金が出ている。上限が全体で20万円である。
委員	資料1に戻るが、相談件数について各包括で介護予防や介護に関する相談が多い中、基幹型で一番多い内容は権利擁護であった。その要因として相談者が権利擁護のことであれば基幹型に相談した方がいいという判断をしているということか。
介護福祉課主任	まず各地域包括支援センターに相談し、権利擁護に関する事例は困難事例となる可能性が高いため、基幹型につながり一緒に対応する事例が多いことから基幹型では権利擁護に関する件数が多

	<p>くなっている。</p>
委員	<p>ケースによってはカウントが2つされていることもあるのか。</p>
介護福祉課主任	<p>各地域包括支援センターと基幹型で同ケースに関してはどちらで相談件数にカウントするかという調整はしていないため、重複している可能性がある。</p>
会長	<p>「(2)令和6年度各地域包括支援センターの総括及び事業評価について」を議事とする。</p>
介護福祉課主幹	<p>(資料3・4に基づき説明)</p>
会長	<p>議事(2)について質問・意見を伺いたい。</p>
委員	<p>ケアラー支援の強化について記述があったが、実際にケアラーがいるということを、どのような形で地域包括支援センターは把握するのか。また、ケアラーが飯能市内にどれくらいいるか把握しているのか。</p>
介護福祉課主任	<p>対応している例になるが、ヤングケアラーについては、学校から市につながることや市から包括につなげることもある。また、訪問の中でわかることもある。多いのは、ケアラー自身が関わっている学校や事業所から市につながり、子どもが高齢者の介護をしているということであれば、子ども支援の部署につなげるなど対応している。市全体としてケアラーの数は把握できていない。重層的支援を強化することが今後の目標となっているので、今後まとめていきたいと考えている。</p>
福祉部長	<p>今回の資料にあるケアラーというのは、ヤングケアラーに限ったものではなく、高齢者を介護している方を表している。</p>
委員	<p>一番初めに話した介護者の離職に関する相談にもつながってくると感じる。世間でもいろいろ問題になっているので、うまく連携できればいいと思う。</p>
会長	<p>国で進めている重層的支援体制整備という大きな課題があり、資料3、8ページにそれを目的とした研修会があり、実施しなくてはならないものであると思う。これについて、なにか意見等あるか。</p>

<p>福祉部長</p>	<p>国から令和8年度を目途に重層的支援体制を整備するようにと話しがあり、飯能市においても地域福祉課を中心に進めているところである。福祉部門の各支援が必要な家庭について世帯全体を支援していく。家族構成によっては高齢者や小さいお子さんがいる家庭、金銭的な問題を抱えている方など複合的な問題があり、以前からそれぞれの部署が支援していたが、市役所の中で連携体制をつくり、家族ごと支援することを進めていく。令和6年度から重層的支援体制の構築を進めることが各部署の共通認識となってきた。新たに窓口を設けないが、令和7年度はさらに整備体制構築を進め、令和8年度から、連携体制のもとで対応することを目指している。</p>
<p>会長</p>	<p>市民にとって相談しやすく、重層的に支援してもらえるのはありがたいことだが、各地域包括支援センターなど相談を受ける側の負担が増えないようにしてほしい。</p> <p>また、10ページにある「業務遂行計画（BCP）」について、緊急時にその組織がどんな形であれ、続けていくため、あらかじめ計画を作成しており、昨年度が策定期限であったということだが、関係機関と協力しながら策定したのか。このBCPを作り上げることがゴールではなく、スタートであり、災害時に計画通りになるとは限らず、それがうまく機能するためにはどうしたらいいか模索することは常に必要なのではないかと感じる。</p> <p>以前から懸念していた2025年問題の年になり、これだけたくさんの方のことを成し遂げ、それでも人材不足など課題はあると思う。</p> <p>レーダーチャートについては、以前と比べると簡略化できたのではないかと感じる。以前は調査の入力作業で事務量の負担があったが、負担が少なくなるのはよかった。</p>
<p>委員</p>	<p>相談件数を見る上で、今後人口動態に合わせて、各地域包括支援センターの地区の割り振りの変更を検討していく必要がある。予防プランについても地区の垣根を越えて、4包括でうまく均等にするとしないと、どこかに相談が集中してしまうのではないかと感じる。</p>
<p>会長</p>	<p>1ページ目にある「介護予防・生活支援サービスの充実」の補足だが、第1層協議体というのは、要支援の方や要支援になる手前の方が要介護にならないようにするために地域で支援するための市全体の協議体で、基幹型が統括している。第2層というのは、各地区にあり、それぞれで活発に実施している。各地域包括支援</p>

<p>会長</p>	<p>センターで予防事業を柔軟に運営していければいいと感じる。国と市の裁量でうまくできる場所、現場の実情に応じた対応が必要なのではないか。県や国と調整し、工夫しながら実施してほしい。運営等協議会も力になればと思う。</p> <p>「(3) 令和7年度各地域包括支援センターの運営方針について」を議事とする。</p>
<p>介護福祉課長</p>	<p>(資料5に基づき説明)</p>
<p>会長</p>	<p>議事(2)について質問・意見を伺いたい。</p>
<p>会長</p>	<p>双柳に地域福祉推進組織が立ち上がるという話があったが、地道な活動から、地域の方が必要性に気付いたということだと感じる。飯能のまちなかがどう腰を上げてくれるか。もちろん、まちなか以外でも立ち上がってもらえればと思う。支援がないと継続的な活動は難しいのではないかな。</p>
<p>委員</p>	<p>各地域包括支援センターにそれぞれの事情があり、担当人数が多い地区もあれば山間部を担当している地区もあり、どのような形で協力体制をとれるか、各地域包括支援センターの管理者がどう感じているかをしっかりと抽出していただき、地域に根差した支援体制が構築できればいいのではないかな。</p>
<p>委員</p>	<p>令和7年度の方針を見たが、全てできるのかと感じた。電話相談件数をどのようにカウントしているのか。電話の相談は1時間あたり、多いところだと、7、8件かかっている。相談以外の電話を含めると1時間でどのくらい電話が鳴っているのか。簡易的な相談もあれば重い相談もあると思うので、それをこなしている職員の大変さを改めて痛感した。</p>
<p>委員</p>	<p>地域包括支援センターが大変なことは理解している。どのようなモチベーションがあれば、地域包括支援センターで働き続けてくれるのか。漠然としたテーマなので、すぐに結論は出ないと思うが、調べるのができたらと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>高齢者の徘徊の問題があるが、ひとり歩き声掛け訓練も実施されていて、地域包括支援センターの職員も自身の仕事が地域の高齢者の生活の助けになっていると実感できることも大事なのではないかなと思う。</p>

会長	「(4) その他」を議事とする。
介護福祉課長	在宅介護支援センターの件で、吾野園が撤退となり、地域包括支援センターはちまん町にはご苦勞をかけている。同地区の後任候補として居宅介護支援事業所の飯能市介護計画サービスほほえみに打診をしてよろしいか伺いたい。
委員	異議なし　－承認－
会長	吾野の方が安心して暮らせるようにお願いしたい。
介護福祉課主任	次回、8月28日(水) 13時30分より総合福祉センター会議室1で開催予定である。
副会長	(あいさつ)
介護福祉課主任	(閉会)
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和　　年　　月　　日</p> <p>議長の署名 _____</p>	